

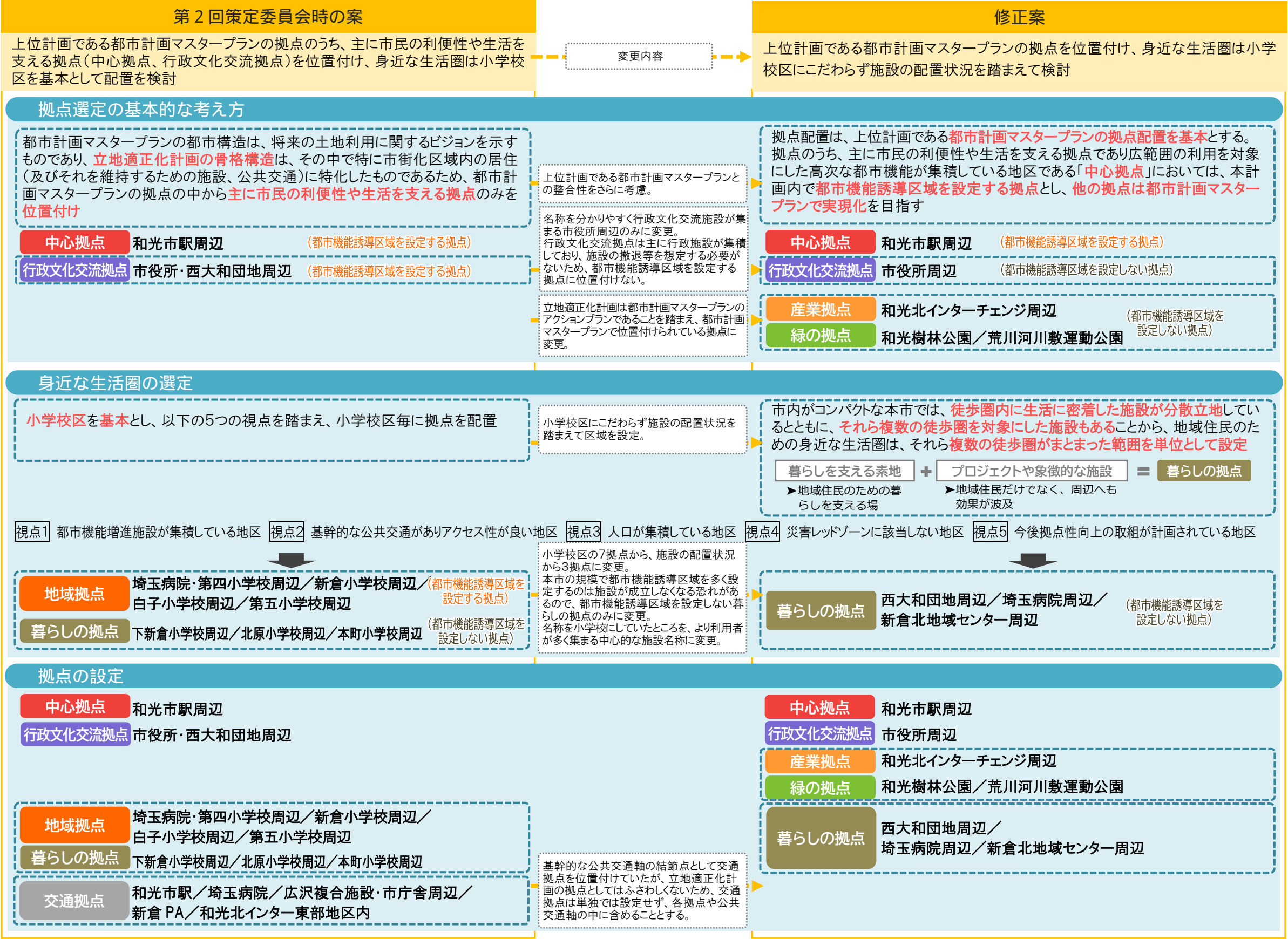
都市の骨格構造

第3回策定委員会での意見を踏まえ、都市の骨格構造を修正。

1 都市の骨格構造の考え方の確認

〔立地適正化計画の都市構造〕 主に市民の利便性や生活を支える **拠点** + 各拠点等をネットワークする基幹的な **公共交通軸** を定める

2 拠点の設定



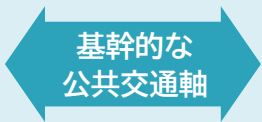
3 軸の設定

第2回時案・修正案共通

軸の設定の基本的な考え方

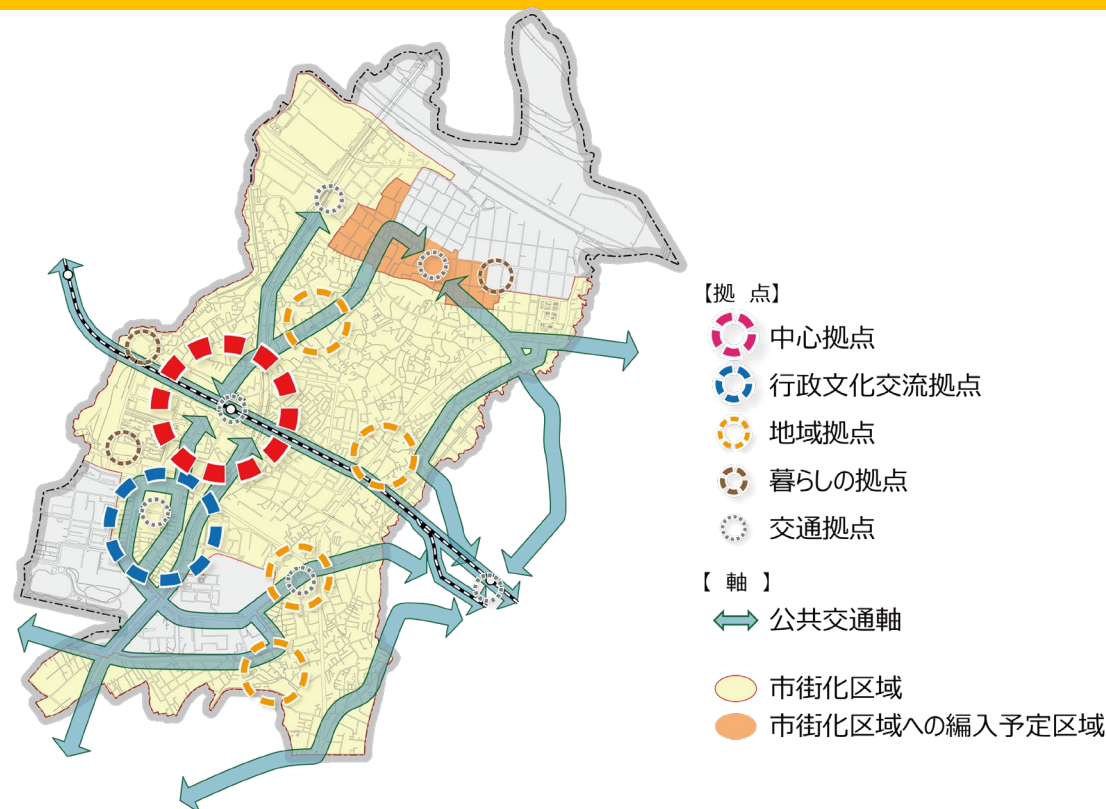
既存の基幹的公共交通路線を踏まえる
+
地域公共交通計画に示されている**地域公共交通網の将来像**をもとに設定

軸の設定



4 . 都市の骨格構造

第 2 回作業部会時の案



分類	対象地域	方向性
中心拠点	和光市駅周辺	土地の高度利用を推進し、商業業務施設、公共施設、医療・福祉・子育て支援施設など多様な都市機能を集積し、市民生活を支えるとともに、まちの顔となる拠点を形成する
行政文化 交流拠点	市役所・西大和団地 周辺	核的な公共施設が集積する重要な拠点として、市民やまちを訪れる人々に憩いや交流の場を提供できる空間を形成する

地域拠点	埼玉病院・第四小学校 周辺	市内外から多くの来訪者が利用する医療機能を維持するとともに、小学校の複合化を契機として地域のための施設の集積を図る
	新倉小学校周辺／白子 小学校周辺／第五小学校 周辺	小学校を中心として、歩いて行ける範囲に日常生活に必要な機能を誘導し地域の拠点を形成する
暮らしの 拠点	下新倉小学校周辺	複合化された小学校を中心として、地域の交流やコミュニティ活動の場として維持する
	北原小学校周辺／本町 小学校周辺	暮らしに身近な拠点として、既存の生活環境を維持する

交通拠点	和光市駅／埼玉病院／ 広沢複合施設・市庁舎 周辺／新倉 PA／和光北 インター東部地区内	交通拠点として、多様な公共交通へのスムーズな乗り換えと、快適な待合環境の形成を図る
------	---	---

基幹的な 公共交通軸	—	新たな交通拠点や拠点間、居住地をつなぐ主要な公共交通軸として、移動快適性の向上を図る
---------------	---	--

立地適正化計画で都市機能誘導区域を設定する拠点へ位置付け

居住誘導区域内でのエリア単位の施策による機能誘導

公共交通施策による実現化

修正案



分類	対象地域	方向性
中心拠点	和光市駅周辺	土地の高度利用を推進し、都市全体の魅力やにぎわいの向上を図る多様な都市機能を集積し、市民生活を支えるとともに、交通結節点として滞留環境を整え、まちの顔となる拠点を形成する
行政文化 交流拠点	市役所周辺	核的な公共施設が集積する重要な拠点として、市民やまちを訪れる人々に憩いや交流の場を提供できる空間の形成を図る

産業拠点	和光北インターチェンジ 周辺	環境負荷の軽減、周辺環境との調和を踏まえつつ、地域産業や都市農業の振興を図りながら、交通の利便性を生かした産業拠点の創出を図る
緑の拠点	和光樹林公園・荒川河 川敷運動公園	自然とふれあうことができる市民の憩いの場として、機能の維持・充実と適切な維持管理を図る

暮らしの 拠点	埼玉病院周辺	地域住民のみならず市内外から多くの来訪者が利用する埼玉病院を核としつつ医療・福祉機能を維持する
	西大和団地周辺	周辺の小学校の複合化等を契機として地域のための施設を集積し、暮らしを支える拠点を形成する
	新倉北地域センター周 辺	新倉北地域センターを中心とした地域住民の交流の場づくりを推進するとともに、交通結節点としての環境を整える

基幹的な 公共交通軸	—	新たな交通拠点や拠点間、居住地をつなぐ主要な公共交通軸として、移動快適性の向上を図る
---------------	---	--

立地適正化計画で都市機能誘導区域を設定する拠点へ位置付け

都市計画マスタープランで実現化を目指す

居住誘導区域内でのエリア単位の施策による機能誘導

公共交通施策による実現化

※赤字は他の案と違う箇所